

あいら伊豆農協 落花生「おおまさり」管理基準

基本事項 株間45cm 畝幅90cm以上 畝高10cm以上 1穴に1粒播き 1条植え を基本とし、日当たりと水はけのよい土地を選びましょう

【栽培条件】 水はけの良い土地を好む為、日当たりの良い場所を選び、排水の悪い畑はなるべく高畝を作ること。また、株間は広くても狭くても失敗する為必ず株間45cmを順守すること。

【土壌消毒】 センチュウ被害や白絹病など対処の難しい病害虫被害がある場合に行う。

【台風対策】 台風や強風時には病気が発生するリスクが高まる為、被害前は「ダコニール1000」もしくは「Zボルドー」、被害後に「ベンレート水和剤」の散布をすること。

【収穫期及び開花期】 播種日から120日を収穫目安とすること。また、収量に大きく影響するため、必ず開花と同時にマルチは除去すること。

【鳥獣対策】 イノシシ・シカ・ハクビシンといった動物に荒らされる恐れがある園地では防獣ネットではなくワイヤメッシュで畑全体を囲うこと。またカラスなど鳥獣対策で播種時期と収穫1か月前にテグスや防鳥テープを張ること。

【収穫】 収穫後は乾燥に弱い為、速やかに莢をもぎ取り土を洗いおとす。水気を取ってから通気性のある野菜袋に詰めて収穫の翌日には出荷する。

【選別】 収穫後の選別は外観の傷・食害痕を見つけ取り除くこと。莢を指で押し、柔らかいようであれば未熟もしくは腐敗している可能性がある為で注意すること。選別の基準については別途資料を参照すること。

【連作障害対策】 必ず畑の中で毎年輪作すること。同じ畝では2～3年植え付けない。(例：落花生⇒葉菜類⇒根菜類⇒果実類⇒など・・・)

【水管理】 マルチをしている場合、雨で十分補えるため水はあえて与える必要はない。開花期からは過度な乾燥で空莢を招くことがある為、7日以上乾燥が続くなら散水を行い、基本的に湿気が貯まらないような状態を維持すること。

【莢褐斑病】 非常に防除が難しい病気。被害を防ぐには収穫期の枯れ葉や残渣を畑にすきこまない、連作しない、管理基準通りの防除を行い、さらに毎年種子更新を行う必要がある。

月	旬	作業	内容	農薬/肥料	散布量
2月	上旬	土づくり	※土壌改良 なるべく早い時期から土に馴染ませる事により害虫の発生を抑える。	牛ちゃんパワー 苦土石灰 PK化成36号	300kg/10a 100kg/10a 40kg/10a
3月	下旬	土壌消毒	※センチュウ類、莢褐斑病などを含む土壌病害虫対策 ※土壌消毒は必要に応じて行う	バスアミド微粒剤 または 粒状石灰窒素	30kg/10a土壌混和 は種21日前まで1回 40～60kg/10a 植付7～10日前土壌混和
4月	下旬	殺虫剤散布 畝たて マルチ	※コガネムシ類・ゾウムシ類対策で必ず植付前に畝に混ぜておく ※畝たてと同時に黒マルチを張る	ダイアジノン粒剤5 または トクチオン細粒剤F	4～5kg土壌混和植付前1回 9kg/10a土壌表面散布後 混和 60日前-2回
5月	上旬	種まき ↓ 2週間後	※直播き→直播きは定植を省けるが鳥に食べられないようテグスや防鳥ネットを設置する必要がある ※育苗ポット9cm→種まき開始2週間以内に必ず定植すること。本来、移植を苦手とするため 直播き推奨だが、鳥獣対策に困る場合はポット播きを検討する。その際は古苗にならないよう気を付ける。 日中は日当たりの良い場所で管理。水やりは土が乾いたら行う程度で、毎日与える必要はない。 乾燥を好むため、水やりと雨で多湿にならないよう注意すること。		
5月	中旬	定植	※間引きせず2粒とも育てること(1粒播きは除く)		
5月	下旬	除草・殺菌剤	※梅雨入り前のそうか病・褐斑病対策	Zボルドーまたは ダコニール1000	500倍散布 500倍散布収穫14日前-4回 以内
6月		除草・殺菌剤	※梅雨時期のそうか病・褐斑病対策	Zボルドーまたは ダコニール1000	500倍散布 500倍散布収穫14日前-4回 以内
7月	上旬	マルチ除去 追肥 土寄せ	※植え付けた株数の半分が開花していれば開花期とみなし、 マルチを剥がして畑のカルシウムを施肥 (空莢防止、実の充実促進効果) ※葉が黄色く元気がない、もしくは前作が野菜でない場合 など、必要に応じてPK化成36号も追肥する ※土を鍬や手で株元に少し寄せ、根張りを増やして収量を 安定させる	畑のカルシウム PK化成36号	40kg/10a 40kg/10a
7月		殺菌剤 殺虫剤	※開花後1度殺菌剤を散布し予防する ※コガネムシ類・ゾウムシ類対策で2度目の殺虫剤散布	Zボルドーまたは ダコニール1000 トクチオン細粒剤F	500倍散布 500倍散布収穫14日前-3回 以内 9kg/10a土壌表面散布後混和 60日前-2回
7月	下旬	除草作業	※7月以降～収穫までの間、2～3週間に一度畝回りや 株の間から伸びた雑草を適宜取り除く ※手作業・もしくは除草剤を使用する	Zボルドーまたは ダコニール1000	500倍散布 500倍散布収穫14日前-4回 以内
8月		鳥獣対策	※テグスを張るもしくは防虫ネットを落花生の上から被せる		
	台風 通過 前後	殺菌剤散布	※褐斑病対策その他病害対策として台風前後に殺菌剤を散布する	【通過前】Zボルドー (予)または ダコニール1000(予) 【通過後】 ベンレート水和剤(治)	500倍散布 500倍散布収穫14日前-4回 以内 2000～3000倍散布収穫 7日前-4回以内
9月	上旬	試し堀り開始	※数株抜き取り1株から20～30粒の以上実っているか、 また病害虫の被害がないかなど確認する		
9月	中旬	収穫開始	※播種日から120日を基準とし収穫開始		
		収穫終了	※連作を防ぐために枯葉や残さを片付けること		